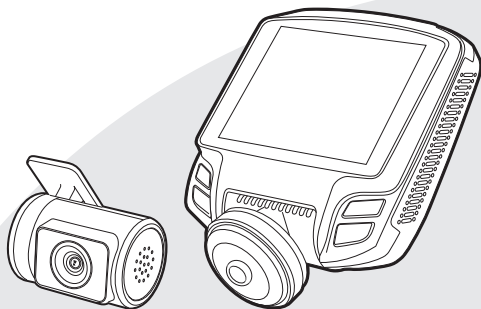


DIARECO

リアカメラ搭載
360°ドライブレコーダー
NDR-RC360



取扱説明書 兼 保証書



このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は車載用ドライブレコーダー本体およびシステムに関する取扱説明書です。

- ご使用前には、本書をよくお読みの上、記載された内容にしたがって正しくご使用ください。
- 裏表紙の保証書に「お買い上げ日・販売店名」などが記入されているか必ずお確かめの上、本書とともに大切に保管してください。



事故が発生した場合、録画データが上書きされないよう電源をオフにし、microSDHCカードを抜いて保管することをお勧めします。

RC3602008V2

目次

はじめに

- 免責事項／使用前の注意 1
- 使用上の注意 2

製品内容

- 内容物 5
- 各部の名称 6

取り付け方法

- 取り付ける前に必ずお読みください 7
- 取り付け方
 - ・ フロントカメラを取り付ける 8
 - ・ リアカメラを取り付ける 10
 - ・ シガーソケットへの接続 11
 - ・ 映像を確認して、角度を調整する 12

基本動作説明

- 起動する
 - ・ 電源をオンにする 13
 - ・ 起動時に確認すること 13
 - ・ 動画モードで録画する 15
 - ・ 電源をオフにする 16
 - ・ リセットする 16
- ファイルの再生／保護／削除
 - ・ 再生モードに切り替える 17
 - ・ ファイルを再生する 18
 - ・ ファイルを保護する 19

- ・ ファイルを保護解除する 20
- ・ ファイルを削除する 21
- 設定する
 - ・ 設定メニューを表示する 22
 - ・ 設定内容 23
 - ・ 日付／時刻を設定する 24
 - ・ microSDHC カードのフォーマット 25
 - ・ 設定をリセットする 26
 - ・ 初期値一覧 26
- microSDHC カードについて
 - ・ microSDHC カードの取り扱い方 27
 - ・ microSDHC カードの入れ方／出し方 27
- 録画ファイルについて
 - ・ 録画時間の目安 28
 - ・ microSDHC カードの容量の割当 28
 - ・ 録画ファイルの種類について 28
 - ・ パソコンで映像を見る 29
 - ・ PC ビューアで映像を見る 30

トラブルシューティング

- 故障かな？と思ったら 31

本体仕様 / アフターサービス

- 仕様 33
- アフターサービス 34

保証書

裏表紙

はじめに

免責事項／使用前の注意

【免責事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失などについては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・本製品(ソフトウェア含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品を使用中にデータ等が消失した場合でも、データなどの保証は当社では一切の責任を負いかねます。
- ・正常に取り付けられていない場合、本製品が落下することがあります。誤った取り付け方、誤った場所に取り付けたことにより発生する製品ならびに車の異常は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・本製品で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・microSDHC カード内のデータ加工などによるデータ破損・紛失などは当社では一切の責任を負いかねます。microSDHC カードの紛失または使用者の不注意による損傷などは保証対象外となり、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・microSDHC カードの消耗に起因する故障、または損傷については当社では一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の使用および取付工事に関わる車の問題に関して、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・いかなる場合でも、取付および撤去に関わる工事費等を当社ならびに販売店で負担することができません。
- ・本書に使用されている画像はイメージであり、実際と異なる場合があります。



安定的な動作のため、1～2週間に一度の microSDHC カードのフォーマットをおすすめします。
microSDHC カードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に問題が発生する恐れがありますので、定期的に新しい microSDHC カード (Class 10 以上) に買い替えることを推奨します。

【使用前の注意】

- ・取扱説明書および本製品の仕様に関して、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本書に掲載されているイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- ・本書の内容に関しましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら、サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。

はじめに

使用上の注意

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への人的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願い致します。

次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、「注意」しなければならない内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



長時間、高温・直射日光にさらされる場所や湿度の高い場所への設置、車内への放置は故障の原因となります。使用しない場合は必ず本体を外して保管してください。

警告



ケーブル類は、運転操作の妨げにならないようにまとめてください。ハンドルやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

事故・ケガの原因となります。



本機は外国車では使用できない場合があります。

本機は DC12~24V 対応です。ただし、シガーソケットの形状により使用できない場合があります。



本機は運転操作や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。

正しく取り付けないと事故・ケガの原因となります。



本機のレンズ部を清潔にしてください。

本機のレンズ部に異物またはステッカーなど視野を妨げるものがある場合には正常な録画ができません。また、周りに物が置いてある場合にもガラスに反射して見える場合がありますので、周りには物を置かないようにしてください。



本機を分解・改造したり、衝撃を与えたりしないでください。

火災・感電・故障の原因となります。



本機またはケーブルをエアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付けしないでください。

事故・ケガの原因となります。



本機を医療機器の近くで使用しないでください。

電波により医療機器に悪影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用の場合、各機器のメーカー、医師に必ずご相談ください。



本機に付属の部品以外は使用しないでください。

指定以外の部品を使用しますと、破損、燃焼、正常に設置できず外れることがあり、危険です。必ず付属品をご使用ください。



水、湿気、蒸気、ホコリ等が多い場所には設置しないでください。

事故・火災・感電・故障の原因となります。



本機の画面が映らない、音が出ない、異常な動作をするなど故障した状態のまま使用しないでください。

ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。事故・火災・感電の原因となります。



走行中は製品の操作をしないでください。

必ず安全な場所に停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



microSDHC カードを小さなお子様手の届くところに置かないでください。

誤って飲み込んだりケガなどの原因になることがあります。



注意



一定以下の衝撃／事故では、イベント録画されない場合があります。

常時録画になります。



本機内部に異物や液体が入らないように気をつけてください。

故障の原因となります。



取り付けはしっかり行ってください。

製品動作に問題を起こしたり脱落 / 落下する恐れがあります。



本機を濡れた手で触らないでください。

感電やケガの原因となります。



適正温度以上の高温ならびに以下の低温で使用しないでください。

本機は -10℃～60℃で正常に動作します。



本機を拭くときにベンゼン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。

製品に傷がつくことがあります。本機を拭くときは柔らかい布を使って乾拭きをしてください。

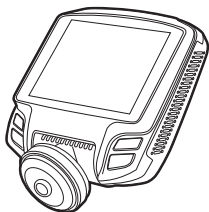


事故が発生した場合、電源をオフにし microSDHC カードを抜いて保管することをお勧めします。

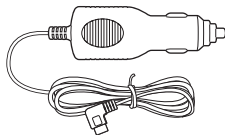
録画データが上書きされる恐れがあります。

製品内容

内容物



本体

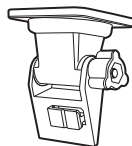


専用シガー電源アダプター

OP-CA15DL

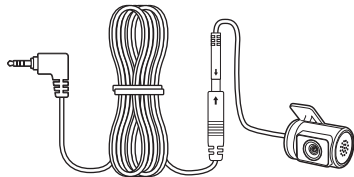
(DC12V/24V) 1.5A

ケーブル長：約 3.5m



専用取付ブラケット

OP-B360



専用リアカメラ接続セット

専用リアカメラ **OP-RC17HD** ケーブル長：約 0.4m

接続ケーブル **OP-RC175CA** ケーブル長：約 6.5m

- ケーブル固定クランプ **OP-CC16** (16個) (※適切な場所、個数をご使用ください。)
- microSDHC カード **OP-SD16C10** (16GB Class10、購入日より保証 90 日間)
- 取扱説明書 兼 保証書 **OP-M360M (本書)**

※内容物がすべて揃っていることを確認してください。

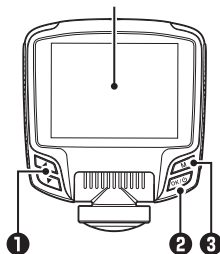
※本製品は 8~32GB までの microSDHC カード (Class 10 以上) に対応しています。

※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

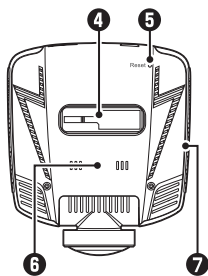
各部の名称

【前面】

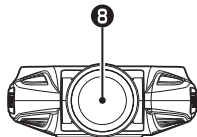
画面 (LCD、2.7インチ)



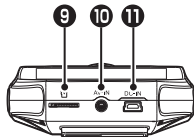
【背面】



【下部】



【上部】



① ▲/▼ボタン

- ・画面のカメラ切り替えを行います。(→P.14、P.19)
- ・項目を移動します。

② OK/⏏ ボタン

- ・選択した内容を決定します。
- ・長押し：電源をオン/オフにします。

③ M ボタン

- ・メニュー画面を開きます。
- ・キャンセルしたり、一つ前の画面に戻ります。
- ・メニュー画面で約2秒間長押しすると、各モード画面に戻ります。
- ・日付/時刻設定をしているとき、変更内容を更新します。
- ・長押し：モードを切り替えます。

④ ブラケット取付レール

- 専用取付ブラケットを取り付けます。

⑤ リセットボタン

- 本機を強制的に再起動する際に使用します。(→P.16)

⑥ スピーカー

- 録画ファイルの音声や、効果音が出ます。

⑦ マイク

- 本体の周囲音を録音します。

⑧ カメラレンズ

- フロントカメラの水平 360°を撮影します。

⑨ microSD スロット

- 記録用の microSDHC カードを挿入します。(→P.27)

⑩ カメラ入力端子 (AV-IN)

- 専用リアカメラ (接続ケーブル) を接続します。(→P.10)

⑪ 電源端子 (DC-IN)

- 専用シガー電源アダプターを接続します。(→P.11)

取り付ける前に必ずお読みください

取り付け時の注意事項

- 取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となります。
- 本機は自動車のフロントガラスの上部 20% 範囲内に正しく取り付けてください。
- 本製品は二輪車での使用を想定していません。二輪車でのご使用はおやめください。
- 取り付ける前に、本機に電源ケーブルが接続でき、操作が行える位置かどうかをご確認ください。
- シガー電源アダプターを接続し、本体、リアカメラが正常に動作することを確認してください。
- microSDHC カードを挿入する向きにご注意ください。
- 本機がルームミラーに接触していないか確認してください。
- フロントガラス縁の着色部や、視野の妨げになる場所に取り付けていないか確認してください。
- ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- 車検証ステッカーなどに重ならないか確認してください。
- エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付けしないでください。
- 専用取付ブラケットを貼り付けてからしばらく時間をおくことにより粘着強度が増します。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置すると、誤動作を起こす可能性があります。
- テレビ/ラジオアンテナの近くで使用すると、ノイズが発生したり、音飛び、感度低下の原因となる場合があります。アンテナからできるだけ離して設置し、干渉しないかどうかをご確認ください。
- カメラレンズ周囲に他のものを配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- 取り付け時に、カメラレンズの保護フィルムを必ずはがしてください。
- リアカメラを接続してから電源をオンにしてください。電源をオンにした後にリアカメラを接続しても、認識されないことがあります。



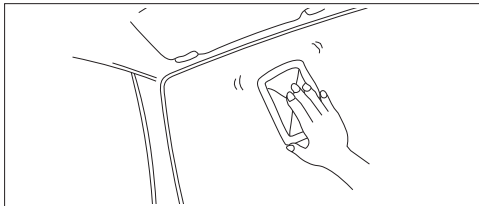
本機に付属している専用リアカメラ以外は絶対に接続しないでください。
故障、火災の原因となります。

取り付け方法

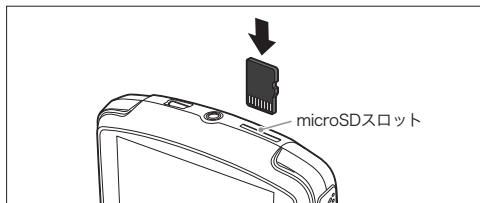
取り付け方

フロントカメラを取り付ける

- 1 フロントガラスに取り付ける適正な位置を決め、汚れ、油分などをふきとります。

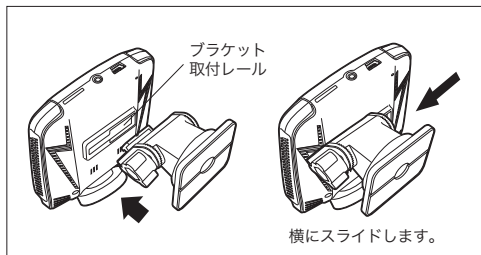


- 2 本機上部の microSD スロットに、microSDHC カードを図のように「カチッ」と音がするまで差し込みます。

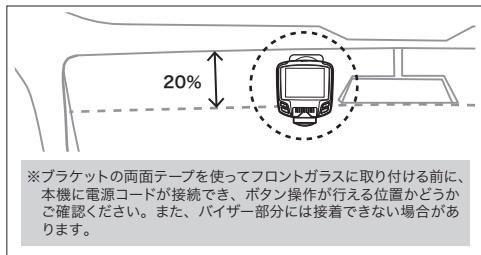


※図のように microSDHC カードの向きを正しくしてから差し込んでください。

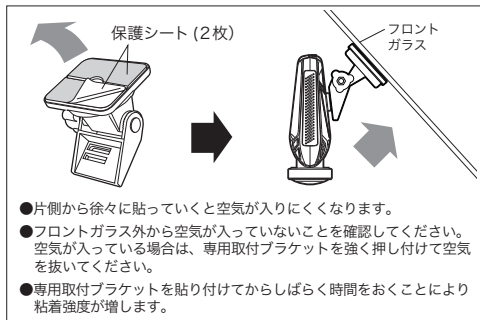
- 3 本機のブラケット取付レールに専用取付ブラケットを差し込み、しっかりと固定します。



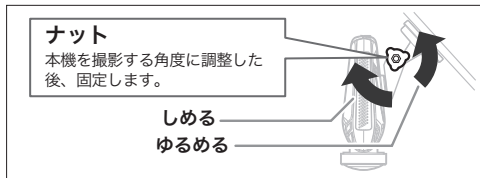
- 4 取り付ける位置に、セロハンテープ等のはがしやすいもので仮止めをします。



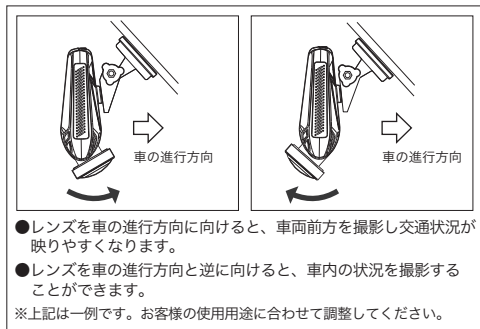
5 専用取付ブラケットの両面テープ保護シートを剥がし、フロントガラスとの間に空気が入らないようにしっかり貼り付けます。



6 本機の角度を決めて、ブラケットのナットを回してしっかり固定します。



7 レンズ角度を振って、撮影する範囲を調整します。



※ナットを適切に固定してください。
緩く取り付けると、走行中にカメラの向きがずれる可能性があります。強く締めすぎると、ナットが破損する原因となります。

※ナットを緩める場合、本機を回さずにナットを回してください。

※カメラレンズの保護フィルムを必ずはがしてください。

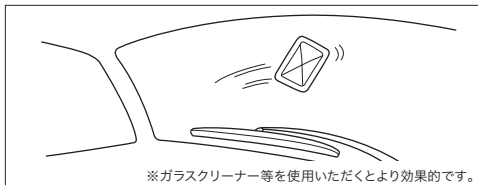
※カメラレンズに触れないようにしてください。レンズが曇り、鮮明な映像が録画できない場合があります。

💡 電源をオンにした後、適切な場所を映しているか、一度画面を確認してください。(→P.12)

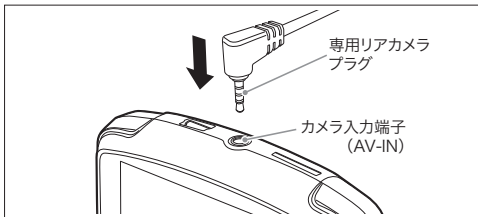
リアカメラを取り付ける

❗ 本機に付属している専用リアカメラ以外は絶対に接続しないでください。故障、火災の原因となります。

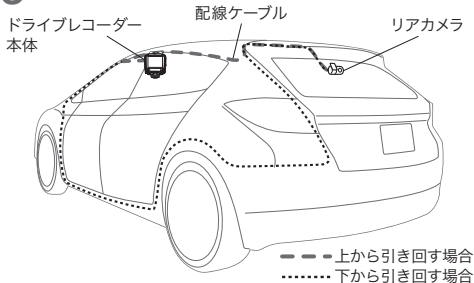
1 リアカメラを取り付ける適正な位置を決め、汚れ、油分等をふきとります。



2 本機のカメラ入力端子 (AV-IN) に、専用リアカメラプラグを差し込み、リアカメラを接続します。



3 専用リアカメラのケーブルを配線します。



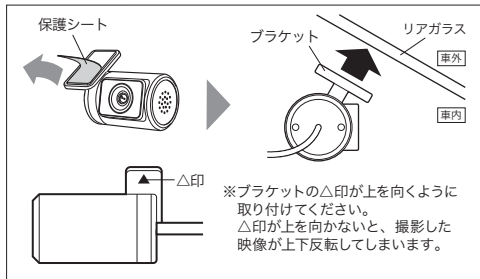
- 付属のケーブル固定クランプを使って、視野の妨げや運転操作、エアバッグ動作に支障がないように配線してください。
- バックドアやトランク等を開閉し、ケーブルが挟まれないか確認してください。またケーブルが引っ張られる場合、ケーブルを余分にたるませて引き回してください。
- 上記のイラストはあくまでも一例です。お客様の車種に合わせて配線してください。

💡 配線前に、リアカメラを取り付ける位置にセロハンテープ等のがしやすいもので仮止めをしておきます。




リアカメラは防水仕様ではありませんので、車外には設置しないでください。故障の原因になります。

- 4 リアカメラの両面テープ保護シートを剥がして、リアガラスに取り付けます。このとき、ブラケットの△印が上を向くようにテープを貼り付けてください。貼り付け後、固定するためにしばらく放置します。

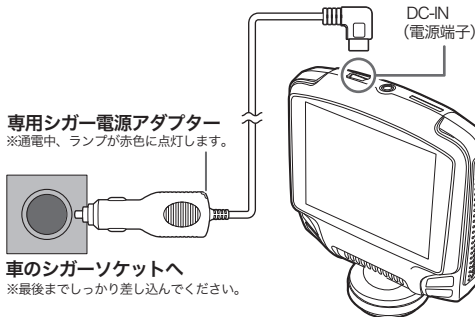


- ※走行中、落下しないようにしっかり取り付けてください。
- ※取り付け時、カメラの調整時は停車した状態で行ってください。
- ※電熱線にかからないように取り付けてください。
- ※映像に電熱線が映り込むと、鮮明な映像が録画できませんので、角度を調整するときにご確認ください。

 電源をオンにした後、適切な場所を映しているか、一度画面を確認してください。(→P.12)

シガーソケットへの接続

- 1 専用シガー電源アダプターを本機と車のシガーソケットに接続します。



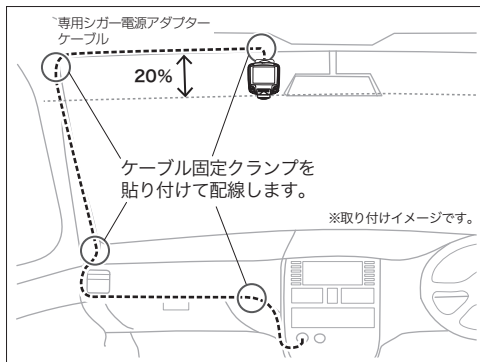
車のシガーソケットへ
※最後までしっかり差し込んでください。

- ・シガーソケットの中に異物がないか確認してから、専用シガー電源アダプターを入れてください。
- ・本機はDC12 / 24V 車対応です。シガーソケットの形状(外国車等)によっては使用できない場合があります。



付属の専用シガー電源アダプター以外の電源ケーブルは、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

2 付属のケーブル固定クランプを使って、視野の妨げや運転操作、エアバッグ動作に支障がないように配線します。



配線によっては、まれに他の機器と干渉し合うことがあります。
その場合、別の配線をお試しください。



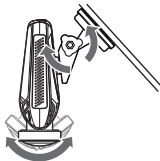
- ・走行中、落下しないようにしっかり取り付けてください。
- ・取り付けは必ず停車した状態で行ってください。
- ・車種によっては、エンジンを切っても電源が切れない場合があります。その際は手で電源を切るか、シガーソケットから電源アダプターを取り外してください。

映像を確認して、角度を調整する

本体の電源をオンにして (→P.13) 画面を確認しながら、適切な場所を映しているか確認します。
画面表示を切り替えるには、本機の▲/▼ボタンを押します。(※カメラ映像の画面切り替え→P.14)
リアカメラが接続されている場合、起動時はフロント+リアカメラの映像が表示されます。

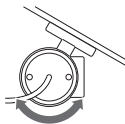
フロントカメラ側

ブラケットのナットおよびレンズの角度で調整します。



リアカメラ側

リアカメラを回して、角度を調整します。

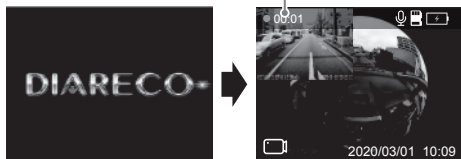


基本動作説明 起動する

電源をオンにする

- 1 microSD スロットに microSDHC カードを挿入します。(→P.27)
- 2 専用シガー電源アダプターを接続します。(→P.11)
- 3 車のACCがオンになると電源がオンになり(エンジンキー電源連動)、起動画面が表示されます。起動画面が表示された後、動画モードになり録画を開始します。

録画を開始すると、画面上部に録画マーク(●)と録画時間が表示されます。



起動時にリアカメラが接続されていると、フロント/リアカメラの映像から表示されます。

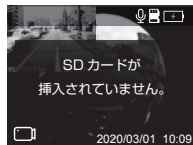
起動時に確認すること

●日付/時刻が正しく設定されているか確認する

- ・ご購入後は必ず、日付/時刻を設定してください。
- ・長時間使用していなかった場合、日付/時刻がリセットされています。その際は、日付/時刻を設定してから使用してください。
- ・設定した日付/時刻は、使用していくとずれることがあります。随時確認し、実際と異なる場合、再設定をしてください。
(日付/時刻を設定する→P.24)

●microSDHCカードが挿入されているか確認する

正しく挿入されていないと、「SDカードが挿入されていません」とメッセージが表示されます。



※microSDHCカードが挿入されていない場合、電源をオフにしてからmicroSDHCカードを挿入してください。

※書き込み速度が遅いmicroSDHCカードを挿入している場合、正しく認識されない場合があります。class10以上のmicroSDHCカードをご用意ください。

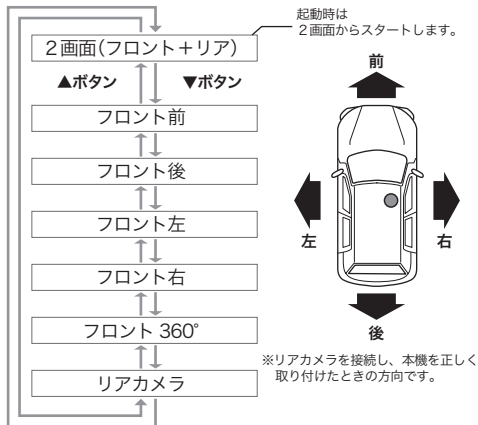
※microSDHCカードが破損していると認識できません。microSDHCカードをフォーマットするか、新しいmicroSDHCカードをご用意ください。

●映像が正しく撮影されているか確認する

P.12「映像を確認して、角度を調整する」を参照してください。

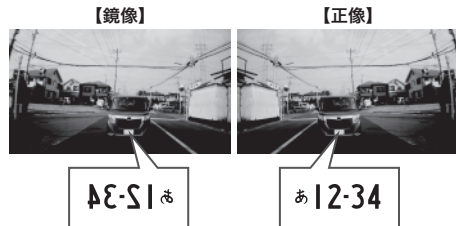
●カメラ映像の画面切り替え

動画モードで▲ボタンを押すと、▼ボタンを押すと、画面が以下のように切り替わります。



【リアカメラ映像について】

本機のリアカメラ映像は、動作中はモニターに「鏡像」で表示されますが、データは「正像」で保存されます。



動画モードで録画する

microSDHC カードが挿入された状態で本機を起動すると、動画モードになり、常時録画を開始します。

【録画面面】



1 録画時間/スタンバイ

録画中（常時）：●が赤く点滅し、録画時間が表示されます。
録画中（イベント）：●が黄色く点滅します。
スタンバイ中：何も表示されません。

2 イベント録画

・常時録画中に G センサーが一定の衝撃を感知する、または M ボタンを押すと が表示され、イベント録画になります。
・該当する映像とその前後の映像がイベント録画として保存され、その次の映像から自動的に常時録画になります。

3 音声録音

音声録音 オン
 音声録音 オフ

4 microSD カード

microSDHC カードが挿入されている
 microSDHC カードが挿入されていない

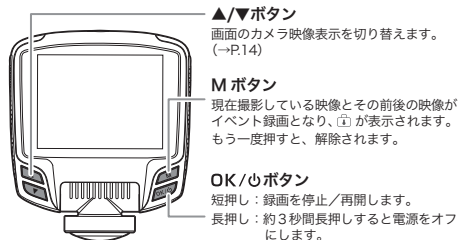
5 通電マーク

通電中（通電中は、このアイコンが表示されます）

6 現在時刻

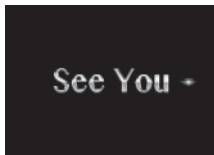
設定した日付/時刻が表示されます。

【録画中の操作方法】



電源をオフにする

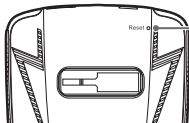
- 車のエンジン（ACC）を切ったり、通電中にシガー電源アダプターを抜くと、約2秒後に終了画面が表示されて電源がオフになります。
- 動作中に **OK ボタン**を約3秒間長押しすると、電源がオフになります。



【終了画面】

リセットする

「ボタンを押しても反応しない」「画面がフリーズしてしまった」等、本機が動作しなくなったり誤動作を起こしたりした場合、専用取付ブラケットから本体を取り外し、本体背面のリセットボタンを押して再起動をしてください。



リセットボタン

※先端の細いもので、軽く押ししてください。

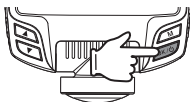
アイコン一覧

項目	アイコン	説明
モード		動画モード
音声録音		音声録音オン
		音声録音オフ
microSDカード		microSDHCカードが入っている
		microSDHCカードが入っていない
通電マーク		通電中
保護マーク		動画モードにおいて、イベント録画中に表示
		動画ファイル再生中に表示、保護されている（イベント録画）
		動画ファイル再生中に表示、保護解除されている（常時録画）

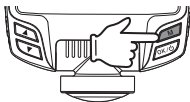
ファイルの再生／保護／削除

再生モードに切り替える

- 1 録画中の場合、OK ボタンを押して録画を停止します。

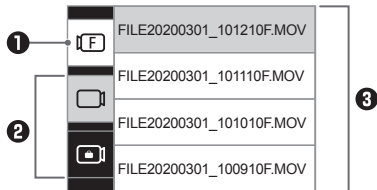


- 2 Mボタンを約2秒間長押しします。



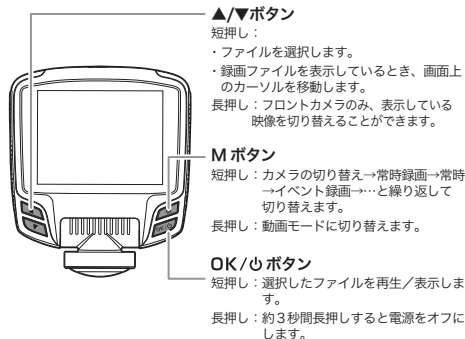
- 3 再生モードに切り替わり、ファイル一覧画面が表示されます。現在の項目は、緑色で表示されます。

【ファイル一覧画面】



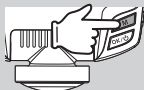
- ① カメラ
- [F] フロントカメラで撮影したファイル
 - [R] リアカメラで撮影したファイル
- ② 録画タイプ
- [] 常時録画で撮影したファイル
 - [] イベント録画で撮影したファイル
- ③ ファイル
- 選択されているファイルは、緑色で表示されます。
- 常時録画 ...FILE [日付] _ [時刻] F.MOV
 - イベント録画...EMER [日付] _ [時刻] F.MOV
- ※ファイル名末尾のFはフロントカメラ、Rはリアカメラを示します。

【再生モードの操作方法】



●フロント/リアカメラの切り替えを行う

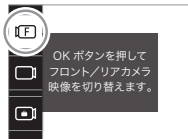
再生モードでは **M ボタン** を押すたびに、「フロント/リアカメラの切り替え」→「常時録画」→「イベント録画」→…と、繰り返して切り替わります。



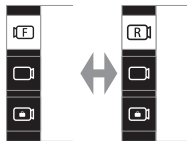
- 1** **M ボタン** を押して、画面左上の **[F]** もしくは **[R]** に合わせます。

[F] フロント **[R]** リア

「OK ボタンを押して、フロント/リアカメラ映像を切り替えます。」とメッセージが表示されます。



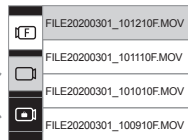
- 2** **OK ボタン** を押します。
OK ボタン を押すたびに、**[F]** **[R]** が切り替わります。



●録画タイプを選択する

- 1** ファイル画面一覧で **M ボタン** を押します。
録画タイプが切り替わります。

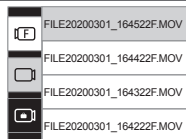
常時録画
 イベント録画



ファイルを再生する

- 1** ファイル一覧画面で、カメラ切替および録画タイプを選択します。

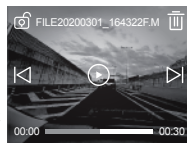
カメラ切替… **[F]** **[R]**
録画タイプ…



- 2** **▲/▼ボタン** で再生したいファイルを選択します。
選択した項目は緑色に点灯します。



- 3** **OK ボタン** を押すと、選択したファイルを再生します。
・**▲/▼ボタン** を短押しすると、カーソル移動します。
・再生中、**▲/▼ボタン** を長押しすると、フロントカメラ映像のみ、表示を切り替えることができます。



- 4** **M ボタン** を押すと、再生を停止してファイル一覧画面に戻ります。



【再生中の画面】

- ・▲/▼ボタンを短押しすると、カーソル移動します。
- ・▲/▼ボタンを長押しすると、フロントカメラ映像のみ、表示を切り替えることができます。
(再生中のみ。前方、後方、左、右に切り替わります)

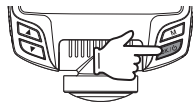


- ① 保護** 保護されていない (常時録画)
 保護されている (イベント録画)
- ② 削除** 現在表示しているファイルを削除します。
- ③ 次のファイル** 次のファイルを再生します。
- ④ 再生一時停止** ▶ ファイルを再生します。
|| ファイルを一時停止します。
- ⑤ 前のファイル** 前のファイルを再生します。

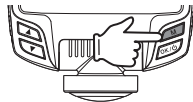
ファイルを保護する

フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「保護」すると、もう一方のファイルも連動して「保護」されます。

- 1** 録画中の場合、OK ボタンを押して録画を停止します。

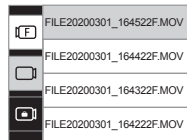



- 2** Mボタンを約2秒間長押しします。
再生モードに切り替わり、ファイル一覧画面が表示されます。





- 3** 「カメラ」からフロント/リアカメラ、「録画タイプ」から常時/イベントを選択します。

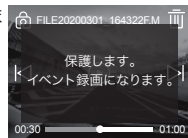
- 4** ▲/▼ボタンで保護したいファイルを選択し、OK ボタンでファイルを再生します。
選択した項目は緑色に点灯します。



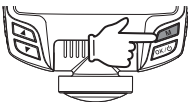
- 5 再生中に▲/▼ボタンでカーソルを移動し、アイコンを選択します。
アイコンが緑色に点灯します。



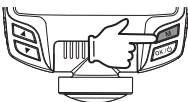
- 6 OK ボタンを押すと、「保護します。イベント録画になります。」と表示され、選択したファイルが保護されます。
ファイルを保護すると、がに切り替わります。




- 7 Mボタンを押して、ファイル一覧画面に戻ります。
保護したファイルは、「FILE○○～」→「EMER○○～」に書き換えられ、イベント録画のファイル一覧に移動します。




- 8 Mボタンを約2秒間長押しします。
動画モードに切り替え、録画を再開します。



ファイルを保護解除する

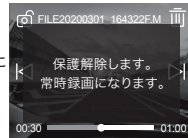
-  フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「保護解除」すると、もう一方のファイルも連動して「保護解除」されます。

「ファイルを保護する」と同様に、保護解除したいファイルを選択します。

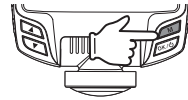
- 1 再生中に▲/▼ボタンでカーソルを移動し、アイコンを選択します。
アイコンが緑色に点灯します。



- 2 OK ボタンを押すと、「保護解除します。常時録画になります。」と表示され、選択したファイルが保護解除されます。




- 3 Mボタンを押して、ファイル一覧画面に戻ります。
さらにMボタンを約2秒間長押しして、動画モードに切り替え、録画を再開します。保護解除したファイルは、「EMER○○～」→「FILE○○～」に書き換えられ、常時録画のファイル一覧に移動します。



- 4 Mボタンを約2秒間長押しします。
動画モードに切り替え、録画を再開します。

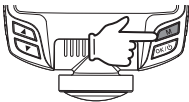
ファイルを削除する

 フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「削除」すると、もう一方のファイルも連動して「削除」されます。ご注意ください。

- 1 録画中の場合、OK ボタンを押して録画を停止します。

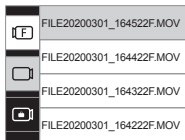



- 2 Mボタンを約2秒間長押しします。
再生モードに切り替わり、ファイル一覧画面が表示されます。

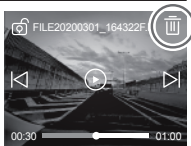


- 3 「カメラ」からフロント/リアカメラ、「録画タイプ」から常時/イベントを選択します。

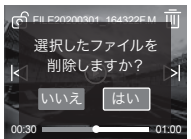
- 4 ▲/▼ボタンで削除したいファイルを選択し、OK ボタンでファイルを再生します。
選択した項目は緑色に点灯します。



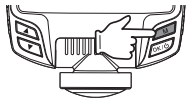
- 5 再生中に▲/▼ボタンでカーソルを移動します。
 アイコンを選択し、OK ボタンを押します。
アイコンを合わせると、緑色に点灯します。



- 6 「選択したファイルを削除しますか?」と表示されるので、OK ボタンを押します。
ファイルが削除されます。
※ファイルを削除すると、一つ前のファイルが表示されます。



- 7 Mボタンを押して、ファイル一覧画面に戻ります。



- 8 Mボタンを約2秒間長押しします。
動画モードに切り替え、録画を再開します。

※イベント録画ファイルを削除しようとする、「選択したファイルを保護解除しますか?」とメッセージが表示されますので、「保護解除」を選択して保護解除します。
その後、「選択したファイルを削除しますか?」と表示されます（上記の6を参照）。

選択したファイルを保護解除しますか?

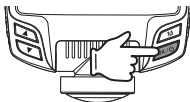
いいえ 保護解除

※保護解除したファイルは「EMER○○～」→「FILE○○～」に書き換えられ、常時録画ファイルの一覧に移動します。

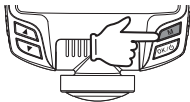
基本動作説明 設定する

設定メニューを表示する

- 1 録画中の場合、OK ボタンを押して録画を停止します。



- 2 Mボタンを押します。
設定メニューが表示されます。



- 3 設定メニュー画面中にMボタンを押すたびに、
動画設定 () ⇒ 衝撃感度 () ⇒
一般設定 () ⇒ 情報 ()
の順にメニューの切り替えを行います。

【設定メニュー画面】

動画設定		言語	日本語 >	設定項目
衝撃感度		音量	大 >	
一般設定		自動 LCD オフ	1分 >	
情報		日付設定	>	

選択した項目は、緑色に点灯します。

【設定メニューの操作方法】

▲/▼ボタン

項目の移動や、値の増減をします。

Mボタン

短押し：①設定メニューを切り替えます。
②一つ前の画面に戻ります。(設定内容は保持されます。)

長押し：設定メニューを開いているとき、モード画面に戻ります。

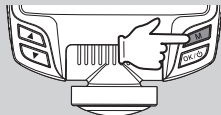
OK/⏻ボタン

短押し：選択した項目を決定します。

長押し：約3秒間長押しすると電源をオフにします。

【動画モードに戻るには?】

設定メニュー画面でMボタンを約2秒間長押しすると、動画モードに切り替えることができます。



設定内容

※()内は初期値を表しています。

●動画設定

項目	説明
音声 (オン)	音声録音のオン/オフを設定します。
録画単位時間 (1分)	1ファイルあたりの録画時間を設定します。 1分/2分/3分
ちらつき防止 (50Hz)	撮影時に信号のちらつきを防止するために、 ご使用の地域の周波数に合わせて設定します。 50Hz (東日本用) / 60Hz (西日本用)

●衝撃感度

項目	説明
衝撃感度 (中)	Gセンサーの感度を設定します。レベルが高いと 敏感に、レベルが低いと鈍感になります。 オフ (Gセンサーオフ) / 低/中/高

●一般設定

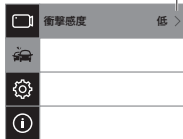
項目	説明
言語 (日本語)	表示する言語を設定します。 日本語 / English (英語)
音量 (大)	録画ファイルの再生音や、操作音の音量を設定 します。 オフ/小/中/大

項目	説明
自動LCDオフ (1分)	何もしない状態から画面表示が消えるまでの時間 を設定します。 オフ/1分/3分 ※画面が消えている時、いずれかのボタンを押すと表示されます。
日付設定	日付を設定します。(→P.24)
時刻設定	時刻を設定します。(→P.24)
SDフォーマット	microSDHCカードをフォーマットします。(→P.25)
設定のリセット	本機をご購入時の設定にリセットします。(→P.26)

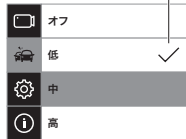
●情報

項目	説明
FW.Ver	製品のバージョン、ソフトウェア情報を表示します。

＞マークがある項目は
更に設定内容があります。



現在の設定には
✓マークが付きます。



日付／時刻を設定する

●日付を設定する

1 録画中の場合、OK ボタンを押して録画を停止します。



2 Mボタンを押します。
設定メニューが表示されます。



3 一般設定の「日付設定」を選択し、OK ボタンを押します。
日付設定画面に切り替わります。



4 日付を設定します。

▲/▼ボタン：▲ ▼ を移動
(濃く表示されます。)

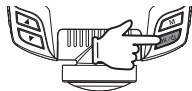
OK/⊙ボタン：数値を変更します。



5 すべて設定し終わったら、M ボタンを押します。
変更した数値が更新され、設定メニューに戻ります。

●時刻を設定する

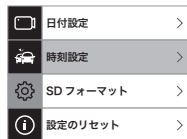
1 録画中の場合、OK ボタンを押して録画を停止します。



2 Mボタンを押します。
設定メニューが表示されます。



3 一般設定の「時刻設定」を選択し、OK ボタンを押します。
時刻設定画面に切り替わります。



4 時刻を設定します。

▲/▼ボタン：▲ ▼ を移動
(濃く表示されます。)

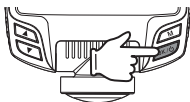
OK/⊙ボタン：数値を変更します。



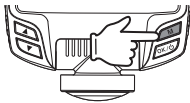
5 すべて設定し終わったら、M ボタンを押します。
変更した数値が更新され、設定メニューに戻ります。

microSDHC カードのフォーマット

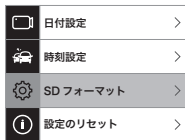
- 1 録画中の場合、OK ボタンを押して録画を停止します。



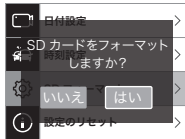
- 2 M ボタンを押します。
設定メニューが表示されます。



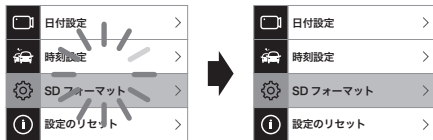
- 3 一般設定の「SD フォーマット」を選択し、OK ボタンを押します。



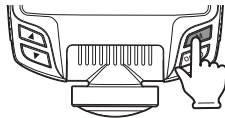
- 4 右のようにメッセージが表示されます。
▲/▼ボタンを押して「はい」を選択し、OK ボタンを押します。



- 5 フォーマットが開始されると、中央にインジケータ※が表示されます。
インジケータが消えたら、フォーマット完了です。



- 6 M ボタンを約2秒間長押しして、動画モードに戻ります。
常時録画を再開します。

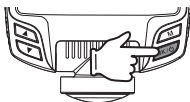


💡: 本機で初めて microSDHC カードを使用する場合、必ず本機でフォーマットをしてください。

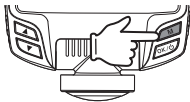
- microSDHC カードをフォーマットすると、全てのファイルが削除されますので、大切なファイルは事前にパソコン等へバックアップしておくことをおすすめします。

設定をリセットする

- 1 録画中の場合、OK ボタンを押して録画を停止します。



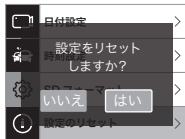
- 2 Mボタンを押します。
設定メニューが表示されます。



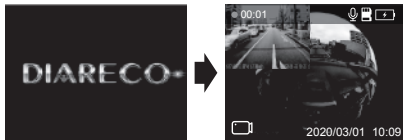
- 3 一般設定の「設定のリセット」を選択し、OK ボタンを押します。



- 4 右のようにメッセージが表示されます。
▲/▼ボタンを押して「はい」を選択し、OK ボタンを押します。



- 5 すべての設定がリセットされ、本機が再起動します。
再起動した後、常時録画を開始します。



初期値一覧

項目	初期値	説明
音声	オン	録画と同時に音声を録音します。
録画単位時間	1分	1ファイルあたり約1分で録画します。
衝撃感度	中	イベント録画を行う際の衝撃感度が中程度
言語	日本語	日本語で表示します。
ちらつき防止	50Hz	50Hz(東日本用)に設定されています。
音量	大	操作音や再生音の音量が大きい
自動 LCD オフ	1分	何もしない状態から1分で画面が消灯

microSDHC カードについて

microSDHC カードの取り扱い方



- ・ microSDHC カードの抜き差しは必ず電源を切った状態で行ってください。
- ・ 本機は 8~32GB までの microSDHC カード (Class10 以上) に対応しています。

※必ず Class 10 以上を使用してください。

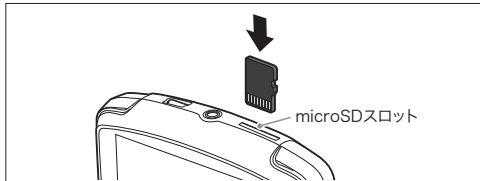
※製品の性質上、全ての環境、組み合わせの動作を保証するものではありません。

- microSDHC カードは、初めに必ず本機でフォーマットをしてからご使用ください。(→P.25)
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- microSDHC カードに衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。
- 録画データの入っている microSDHC カードを使用する場合は、不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。
- 安定的な動作のため、1~2週間に1度、microSDHC カードのフォーマットを推奨します。
- microSDHC カードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に問題が発生する恐れがありますので、定期的に新しい microSDHC カードに買い替えることを推奨します。
- 本製品はファイルシステム FAT32 でフォーマットした microSDHC カードしか認識できません。ご了承ください。

microSDHC カードの入れ方 / 出し方

【microSDHC カードの入れ方】

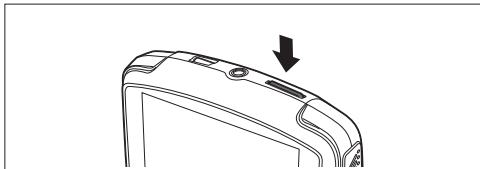
本体の電源が切れていることを確認してから、microSD スロットに microSDHC カードを図の向きに差し込みます。



※microSDHC カードの向きに注意してください。
※カチッと音がするまで、奥まで差し込んでください。

【microSDHC カードの出し方】

本体の電源が切れていることを確認してから、microSD HC カードの中央部を押して、microSDHC カードを取り出します。



※microSDHC カードの飛び出しにご注意ください。

録画ファイルについて

録画時間の目安

下記に表示された録画時間は、2カメラを使用した目安時間であり、使用状況によって異なります。

【録画時間の目安】

解像度 (フロントカメラ + リアカメラ)	8GB	16GB	32GB
360° + HD (1280×720)	約45分	約90分	約180分

※フロント/リアカメラの同時録画で常時録画、イベント録画（Gセンサー、手動）によるすべての録画時間の合計です。

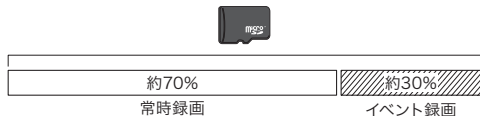
※フロントカメラの解像度は「360°（1944×1944）」、リアカメラの解像度は「HD（1280×720）」で固定されています。

※スピードクラス：Class10を使用

※上記値は目安です。状況により録画時間は変動します。

microSDHC カードの容量の割当

録画方法によってmicro SDHC カードの容量がそれぞれ割り当てられています。

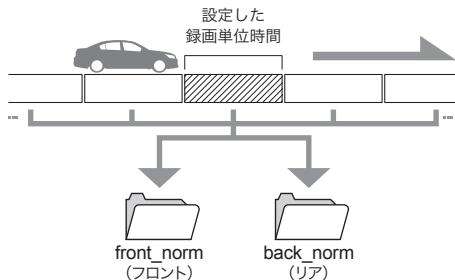


録画ファイルの種類について

【常時録画ファイル】


本機が起動してから終了するまで録画する、通常の録画ファイルです。設定した録画単位時間ごとに記録します。

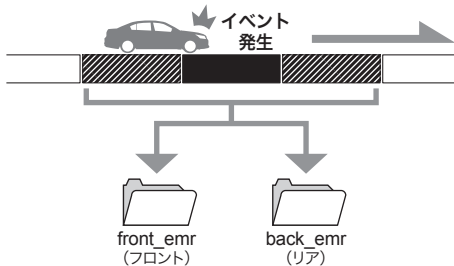
- 1ファイルあたりの録画時間は1分、2分、3分に設定できます。
- フロントカメラ側は FILE [日付]_[時刻]F.MOV、リアカメラ側は FILE [日付]_[時刻]R.MOV という形式で、フォルダ内の「front_norm」「back_norm」フォルダに保存されます。
- 容量が不足すると、一番古いファイルから上書きして保存します。イベント録画ファイルは上書きされません。
- 動画モード以外の操作を行っているとき、録画（常時/イベント）は行われません。



【イベント録画ファイル】

Gセンサーが一定以上の衝撃を感知したり、録画中にMボタンを押すと、イベント録画として保存されます。

- フロントカメラ側は **EMER [日付]_[時刻]F.MOV**、リアカメラ側は **EMER [日付]_[時刻]R.MOV**という形式で、フォルダ内の「front_emr」「back_emr」フォルダに保存されます。
- イベントが発生した前後の動画が保存されます。(計3つの動画ファイルを同時保存)
- 録画時間単位は、常時録画の設定時間に連動します。
- これらの録画ファイルは上書きされませんが、microSDHCカードのフォーマットを行うと削除されます。
- 本機でファイルを操作したい場合、イベント録画ファイル  に切り替えてください。



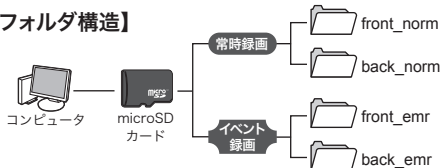
microSDHCカード内に、イベント録画ファイルや他のファイルが存在して上書きするための容量が不足していると、「イベント録画の空き容量がありません。」とメッセージが表示されます。その場合、別のmicroSDHCカードを用意するか、ファイルをパソコン等にバックアップしてからSDフォーマットを行い、空き容量を確保してください。

パソコンで映像を見る

録画ファイルはパソコンで再生/表示することができます。

- 1 パソコンにmicroSDHCカードを挿入します。
(別売のmicroSDカードリーダー等を使用します)
- 2 リムーバブルディスクのmicroSDHCカードを開きます。
- 3 それぞれのファイルが保存されているフォルダ (front_norm、back_norm、front_emr、back_emr)を開きます。

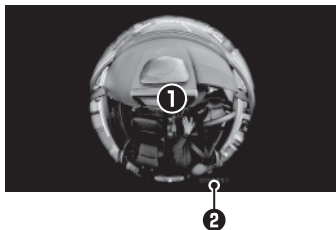
【フォルダ構造】



※常時録画は front_norm、back_norm、イベント録画は front_emr、back_emr にフォルダ分けされています。

- 4 録画ファイルは、以下のプレーヤーで再生できます。
- コーデックに対応した動画プレーヤー
MOV (ビデオ:H.264 オーディオ:MP3)

【パソコンでの表示画面】



- 1 表示画面 選択したファイルの映像が流れます。
- 2 録画日時 録画した日時を表示します。

※すべてのパソコンにおいて動作を保証するものではありません。
※本機とパソコンを USB ケーブル等で直接接続しないでください。

PC ビューアで映像を見る

PC ビューアを使用するためには、下記のように対応するパソコンをご用意ください。

OS : Windows7 / 10 64bit
CPU : Core i3 以上 (推奨 : Core i5 3.0GHz 以上)
メモリ : 4GB 以上 (推奨 : 8GB 以上)

●PCビューアをダウンロードする

専用の PC ビューアは、当社ウェブサイトにてダウンロードすることができます。

http://nplace.jp/product/drive_recorder/ndr-rc360/

にアクセスし、ページ内から「専用ビューアソフト」をクリックしてください。
リンク先ページの内容に従い、ビューアソフトのダウンロードを行います。

- ※ダウンロードするには、インターネット接続環境が必要です。
- ※ウェブサイトの更新により、該当するページが変更になる場合がありますのでご了承ください。
- ※専用 PC ビューアの操作方法、画面の見方等は、該当するページにてご確認ください。
- ※Windows のアップデート等により、PC ビューアが正常に動作しない場合があります。その場合、最新の専用 PC ビューアをダウンロードしてください。

故障かな?と思ったら

症 状	処 置	
電源が入らない	専用シガー電源アダプターが正しく接続されているかご確認ください。	P.11
	シガーソケットの内部が汚れていたり、異物がないかご確認ください。	P.11
	専用シガー電源アダプターの内部のヒューズが切れていないかご確認ください。切れている場合、エンブレイス・デジタルサポートセンターまでご連絡ください。	
microSDHC カードに録画できない/ microSDHC カードが認識できない	microSDHC カードが正しく挿入されているか確認してください。	P.27
	microSDHC カードをフォーマットするか、新しい microSDHC カードに交換してください。microSDHC カードは消耗品ですので、長期間使用した場合、正常に動作しない場合があります。(※正常に認識できない場合、microSDHC カードが破損している可能性があります。)	P.25
常時録画ができない	本機で生成される録画ファイル以外のファイルが microSDHC カード容量の 70% を超えていると、常時録画ファイルが生成できません。 →別の microSDHC カードを用意するか、SD フォーマットを行ってください。	P.28 P.25
イベント録画ができない	イベント録画ファイルが microSDHC カード容量の 30% を超えると、イベント録画ファイルが生成できません。イベント録画ファイルを削除、もしくは microSDHC カードのフォーマットを行って、空き容量を確保してください。	P.28 P.25
	衝撃感度の設定値を調整してください。	P.23
音声録音ができない	音声録音の設定がオンになっているか、ご確認ください。	P.23
	本機のマイク部に異物がないか、マイク部を遮るものがないかご確認ください。	P.6
映像が汚い、映像が乱れる	カメラレンズまたは車のガラスを乾いた布などできれいに拭いてください。	
	他の電子機器 (GPS 機能付き製品、VICS 受信機、TV / ラジオアンテナ等) が影響している可能性があります。その場合、できるだけ離してご使用ください。	P.7

症 状	処 置	
画面が消えてしまう	本体の電源がオンになっているかご確認ください。	P.13
	「自動 LCD オフ」が設定されていないかご確認ください。 ・常に画面表示したい場合、設定を「オフ」にしてください。 ・画面表示が消えているとき、任意のボタンを押すと表示されます。	P.23
操作が効かない／画面がフリーズして動かない／誤作動を起こす	本体の電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。 それでも解決しない場合、本体背面のリセットボタンを押して再起動を行ってください。	P.16
リアカメラの映像が表示されない	接続ケーブルが正しく接続・配線されているかご確認ください。	P.10
	本体の▲／▼ボタンを押して、リアカメラの映像を表示してください。	P.14
リアカメラの映像が上下反転している	・専用リアカメラのブラケットの△印が上を向いて設置されているかご確認ください。 ・リアカメラの映像は、画面に鏡像で表示されますが、正像で記録されます。	P.11
日付がリセットされてしまう	長時間使用していなかった場合、日付／時刻がリセットされてしまいます。その際は、再度「日付設定」「時刻設定」をしてください。	P.24

上記で問題が改善しない場合、または部品の追加購入について

エンプレイス・デジタルサポートセンター **0570-005-051** までご連絡ください。

仕様

ドライブレコーダー本体

サイズ/重量	約 (W)78 x(H)91 x(D)30 mm / 約 110 g
記録媒体	16GB microSDHC カード (Class10) 付属 8~32GB microSDHC カード (Class10 以上) に対応
カメラ	500 万画素 CMOS センサー WDR (ワイドダイナミックレンジ) 搭載 (※フロントカメラのみ) 水平 360°/垂直 240° 360°録画 1944x1944
フレームレート	30 fps
音声	マイク、スピーカー内蔵
G センサー	3 軸 G センサー
入力電源	DC12 / 24V 対応
シガー電源アダプターヒューズ	ガラス管ヒューズ (5mmx20mm) 1.5A
消費電流	最大 500mA (5V)
動作温度	-10°C ~ 60°C
録画	常時録画 (録画単位時間: 1 分、2 分、3 分) イベント録画 (録画単位時間: 常時録画に連動) エンジン オン/オフ に連動して記録
動画ファイル形式	MOV (ビデオ: H.264、オーディオ: MP3)*
LCD (液晶ディスプレイ)	2.7 インチ

リアカメラ

サイズ/重量	約 (W)45 x(H)30 x(D)30 mm / 約 15 g
カメラ	100 万画素 HD 対角 112°/水平 90°/垂直 80° 1280x720
フレームレート	30 fps
録画	録画単位時間: フロントカメラに連動
動画ファイル形式	MOV (ビデオ: H.264、オーディオ: MP3)*

※PCビューア、もしくは一般の動画プレーヤーで再生できます。MOV(ビデオ:H.264、オーディオ:MP3) が再生可能なプレーヤーが必要です。

本体仕様／アフターサービス

アフターサービス

保証について

本製品の保証期間はご購入後1年間です。
保証期間中は保証規定に従って修理させていただきます。
保証期間外でも修理により性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償修理させていただきます。
(付属品は原則的に保証対象外となります。)

修理に関するご相談窓口

受付時間をご確認の上、エンブレイス・デジタルサポートセンターにご連絡ください。

■アフターサービス及び製品に関するお問い合わせは
「エンブレイス・デジタルサポートセンター」までお願いします。

0570-005-051 平日 午前 10 時から午後 5 時まで
(土日祝祭日、当社の休日を除く)

休日前後は電話がつながりにくい場合があります。
その際は時間をおいてからおかけ直しいただきますようお願い致します。
アフターサービスのためにサポートセンターに商品をお送りいただく場合の送料は、
保証期間内外を問わず、お客様のご負担となります。

販売元：株式会社エンブレイス